

しほん ちょしょく しゅうい ことくでんえ

紙本著色拾遺古徳伝絵



■ 指定年月日
大正6年4月5日

■ 所在地
銚田市烏栖

■ 年代
鎌倉時代後期

大きさは縦40.3cm、横1979.8cm。鹿島門徒の一人、長井導信の要請により京都で作成され、これに絵が付けられて成立したのが本絵巻物で、法然の電気である。絵は土佐光信、筆は世尊寺行俊との史料がある。

もと全10幅であったものが慶長13年（1608）の落雷により一部が焼失し、残りの部分で一巻に作り直された。